

やつおもて

第20号（2018年7月）
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：（45-1918）
eメール：wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～



なつがく～れば
おもいだす～



はるかなおぜ～
ののこみち～



“夏がく～れば思い出す～”私は何回目の夏を迎えたでしょう！思い出すのは小学校の夏休みのことが多いです。観音滝や戸川に泳ぎに行ったこと。お宮に集まって「夏休みの友」をやったこと。時間ぎりぎりですらジオ体操に走ったこと等々。皆さんの夏の思い出は何でしょうか？聞かせてくださいね！（つぬ）

【和田の歴史コーナー】 和田地区の神社紹介⑥です。

【重富八幡宮】

- ◆鎮座地・・・旭町大字重富字岡田山
- ◆祭神・・・応神天皇 仲哀天皇 神功皇后
- ◆勸請・・・1245年
- ◆由緒・・・1245年重富の宮ヶ埵（酒井家の空）に創建されたという。1247年に勸請されたという本郷八幡宮との関係には不明な点が多い。「和田山根家系譜の略記」に天文のころ（1532～1554）福屋正兼時代に和田八幡宮の神職山根兼経の三男兼利が分家して二宮勘介と称し、重富八幡宮社司になったとある。



現在の重富八幡宮

1792年2月重富村祠官二宮河内と木田村祠官二宮相模が寺社奉行に報告した文書の写本に次の文がある。「当社家二宮相模まで八三代系図相伝わり申し候。雲州日御碕宮にて高子と申す名字にて御座候。しかるに元和元年銀山山神御勸請のみぎり、吉田様御下りになり、その節銀山に参り、吉田附に相なり、二宮と申し候名字くだしおかれ…省略」二宮家は火難にあい、古文書を失っているという。

高子性を二宮に改めたという事、日御碕からなぜこの地に来たのか。木田に山神勸請の形跡はなく、「大森に山神を勸請したのはさらにさらに以前のことであるなどこの文書には幾つかの点で疑惑を感じる。福屋氏滅亡後森脇氏と共に吉川氏配下の二宮氏が木田に転住したことも考えられ、重富の二宮家は木田二宮家の分家であろう。（「山県郡史」の研究参照）1666年宮の埵から岡田山（現在の社地）に宮を移したという。1873年（明治6年）5月重富村村社となる。（旭町誌上巻より抜粋）

人と人 みんなつながり 生きている

★続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです★



大暮梨のカッパ

前編
です。



昔、本郷の奥の大暮梨にカッパがいたころの話。

昔も今も水が無ければ人間生きていけない。生きていくために米を作るのだが、これも水が必要だ。その水を引くために田んぼの上流に池や堤を作っていた。また、昔から水がある所にカッパが住み着くという。本郷にも昔そんな所があり、この大暮梨の堤にも一匹のカッパがいた。

このカッパは相撲が好きで、そばを通りかかった村人に「相撲とろう、相撲とろう！」と呼び止めた。村人はそんな事を言って水底へ引きずり込むんじゃないかと恐れた。そんな事から村人達はそこを通らなくなった。

そんなある日。カッパは暖かい堤のほとりで「コウラ干し」をしてウツラウツラと居眠りをこいて頭を「コックリ、コックリ」していた。その時一人の強そうな男が通りかかったのだ。とっさにカッパは立ち上がり男に近づき「相撲をとろう！」とせまった。男はじ〜と見ていたが「こんな痩せっぽちの小僧に負けるものか！」と裸になり一人と一匹はガップリ四つに組んだ。強い！カッパは自分の力に自信を持っていたが「居眠りしたのが悪かった」。半分頭の皿の水が無くなり渴いてきたのだ。

「力が入らない」互角の勝負になった。一人と一匹は離れる事もなく力を尽くして取るのだがなかなか勝負がつかない。カッパは困った顔をして…「ちょっと待ってくれ！頼む！皿に水が無くなって…」と泣き言を言いだした。

男は「買った勝負だ。途中で止めることはできん、けりがつくまで泣き言は聞かん！」

後編につづく。(文・絵 佐々岡健次)



昔、本郷にもカッパがいたんですね〜
このカッパほんとは相撲に強いのか弱いのか…？
次回後編でわかりますよ〜
楽しみにしていてくださいね！

ベンソン陽子の海外便り 第8回

☘☘☘☘ 電子化に慣れている子供たち ☘☘☘☘

こちらでは、最近の子供たちがあまりおもちゃで遊ばないので、おもちゃ屋さんがかんどんつづれてきています。今はパソコン、タブレットやケータイで遊ぶのが主流らしく、デパートなどでもおもちゃの売れ行きが悪いと聞きます。

ベンソン家でも子供たちはケータイを持っていますが、食事中はNO PED (Personal Electronic Devices) というルールを守っています。最近は何でも電子化で、本もケータイで読む、という子供もいますが、我が家は徹底的に Hard cover (普通の本) または Paperback (文庫本) を読む、と決めています。

あと、夏休みがこっちは始まったばかりなのですが、天候が許す限り子供たちは毎日プールに行っています。ドミニクはフットボールの練習が毎日あるので体を鍛え頑張っています。(この前の試合では、タックルした時に相手のヘルメットが取れるくらい激しくアタックしてました。) 彩葉は外で遊ぶのが好きなので、雨の日でさえも外で遊んだりしています。長い休みですがなんとかこうやって体を動かして頑張っています。



子どもは元気が一番ですよ。皆さんも暑い夏、頑張ってお過ごしください。



(文・写真 ベンソン塚崎陽子) ※PED…個人が使う電子機器 ケータイやスマホなどのこと。

ドミニク君の通っている高校(ラングストンヒューズハイスクール)のチーム「パンサーズ」の写真です。彼のポジションはディフェンスのラインバッカーというところです。セイフティーでもあるのでタックルだけでなくボールを相手から奪い取ってゴールに走る(タッチダウン)こともあります。

公民館から募集のお知らせ

写真大募集!

「懐かしの和田、あの日の1枚」

★和田地区の古い写真を募集します。風景、行事など和田地区の様子がわかれば大丈夫です。押入れの奥に眠っていませんか?

★古い写真を始末しようかな?と思っている貴方! 始末する前に公民館へ連絡を!

館長の今月の一言

今回は 200v配線について (IH 調理器具やエコキュートなど、大容量の電気を使う電気機器に使用する配線です。)

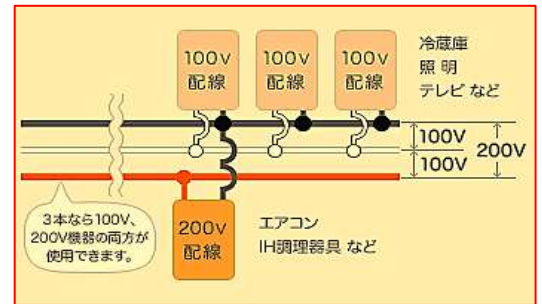
私たちの家庭に入っている電気には、電線が2本入っている単相2線式と、電線が3本入っている単相3線式とがあります。単相2線式では100V用の機器しか使えませんが、単相3線式は100V用と200V用の両方に対応することができます。

電気機器の容量は次の式で表します。

電圧(V)×電流(A)＝電気機器の容量(W)

同じ大きさの電流でも、200Vは100Vに比べて2倍のパワーを得ることができます。最近ではエアコンやIH調理器具といった大きな容量の電気機器が増えています。500Wなどの小容量の機器は単相100Vで使用するのが適していますが、1kWを超えるような大型機器は200Vで使用しないと効率が悪くなります。

電気の話 No.5

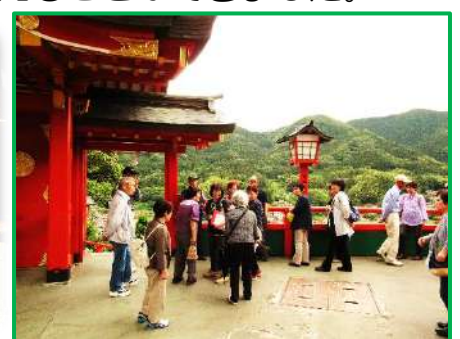


次は

～つぬちゃんのこんなのやりましたコーナー～



5月29日今市・和田公民館ふるさと地域学習事業と旭町高齢者クラブ女性部合同で、津和野町に行って来ました。浜田市は浜田藩開府400年です。しかし、旭自治区の多くは津和野藩の領地でした。近くの浜田藩ではなく、なぜ津和野藩の飛び地となったのか、実際に津和野町を訪れ学習しました。津和野町では、まず日本遺産センターで、コンシェルジュから「津和野百景図」などについて、その後はガイドの高野さんから丁寧な説明を聞きながら「天領堀家庭園」「太鼓谷稲成神社」を歩きました。二人の説明で津和野藩の歴史と共に私達の先人がどのような暮らしをしていたのかを知ることができました。



あとがき

5月27日(日)まちづくり委員会と共催で和田地区親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。今年度は、子ども会の事業に組み入れて頂き多数の小学生と保護者の参加がありました。参加した高齢者の方から、「久しぶりに子供さんや若い世代の人と交流ができとても楽しかった」と感想を貰いました。顔なじみになることで地域の絆が深まり、防犯、防災に繋がってくると思います。これからも継続していけるといいですね！(美)